

養父市長候補者 選挙公報

令和2年10月18日(日)執行

発行者 養父市選挙管理委員会

このままではいけない！ 養父市の未来を守る —すべては安心・安全が基本です—

1. 危機管理(防災・減災)

私は危機管理のプロ。多くの災害派遣を経験しています。その知識や経験を生かし、近年多発する自然災害、ワクチンや治療薬がない状態が続く新型コロナウイルスのような感染症への対策を推進し、大切な市民の命を守ります。

2. 人を大切に

私は人を大切にします。基盤は人材育成です。家族・家庭を大切に、地域を大切にしていけることが安心・安全に直結します。

3. 新たなまちの創造

私は農業をしやすい環境整備をします。給排水路の整備や畦畔の改善等の取り組み、新たな担い手を確保します。また、公共交通とやぶくろの有効活用により、観光客や地域の子どもの移動手段を確保します。

4. 市役所の改革

私は風通しのよい職場を作ります。職員がその能力を最大限発揮して、非常時に迅速に対応できる体制に変えていきます。



にしだ
西田 新也

挑戦からしあわせへ 養父市の未来も懐かしさにある

未来に向け市民が夢と希望を持てる養父市づくりを進めて行く必要があります。伝統等を「つなぎ」、良いことは「つづけ」、苦楽を「分かち合い」、住んでみたい・住んで良かったと思える養父市づくりを市民の皆さまと共に進めます。

賢い田舎 ● オンラインによる双方向性授業 ● 防災・災害の対応
● スマート農業 ● 遠隔医療・施薬 ● 現地解決型の地域再編

養父市 シアワセ 養父市の未来も懐かしさにある
都市ビジョン 「思いやりの距離」を持ち、5Gでつながる人と地域

①ひとづくり・教育(みんなが輝く地域) ②伝統・文化・芸術(郷土への誇り)
③安全・安心(災害、感染症から命を守る 強靱な社会資本) ④保険・医療・福祉(幸せ、健康長寿のまち)
⑤産業・経済・環境・5G(新時代を生きる) ⑥養父市創生(次世代への未来づくり)

～生命(いのち)に向き合い、国家戦略特区を活かした～
「産業を育み人を育む」 地域の新たな生命(いのち)を育むまち

つなぎます ● 養父市の伝統、歴史、文化、自然を次の世代につなぎます。
● インターネット環境を活かし、人づくり、仕事づくり、地域づくりを未来へつなぎます。
● 新しい生活様式をおだやかに安全・安心なまちづくりにつなげます。

つづけます ● 子育てで日本一への取り組みをつづけます。● 住みたい田舎日本一を目指しつづけます。
● 国家戦略特区に挑戦しつづけます。

分かち合います ● 市民一人ひとりが主人公です。皆さんの声を市政に反映します。
● 誰一人取り残しません。喜び、悲しみ、苦しみ、悩み、幸せを共に分かち合います。
● 地域の経済をみんなで分かち合い支え合ひましょう。



ひろせ
栄 せいざぶろ

市長選挙 投票日
10月18日(日)

みんなで投票、
明るい選挙。



「選挙のめいすいくん」の家族

投票時間 午前7時～午後8時(第21・22投票所は) 午後6時まで

この選挙公報は、候補者から提出された原稿を写真に撮ってそのまま印刷したものです。

3期12年の市政運営に感謝しつつ
新たな養父市づくりを
皆さんと共に。

5つの柱で新たな養父市を創る

- 1 コロナと共存しつつの産学官民連携施策の推進
- 2 市民負担の抑制を図るための広域連携の強化
- 3 市民提案、女性が輝くまちづくり施策の推進
- 4 市民の暮らしを中心とした教育・福祉の推進
- 5 現地解決型の支所機能の構築

養父生まれ養父育ち /
政次 悟
プロフィール
1955年生まれ (64歳)
兵庫県立和田山商業
高等学校 卒業

和田山町役場奉職
企画調整課 総務課 税務課 福祉課 社会教育課等
朝来市健康福祉部 高齢福祉課副課長
企画部まちづくり推進課長
企画部企画政策課長
総務部秘書課長
健康福祉部地域医療担当部長
市長公室 公室長
所管: 総合政策課、まちづくり推進課、福祉広域課、竹田城課

浅野校区自治協議会勤務
養父市議会議員に初当選
養父市議会
総務文教常任委員会委員長
南但広域行政事務組合議会
総務委員長
養父市議会副議長
(予算特別委員会委員長兼務)



まさたか
政次 悟 たくがわ